

テーマ	全経対策（Ⅷ）：精算表・F/Sの構造
-----	--------------------

1. 経法商店（会計期間は4月1日～3月31日）の精算表を、次の決算整理事項によって完成しなさい。（全経3級対策：第164回）
- (1) 期末商品棚卸高 270,000円
- (2) 貸倒引当金 売掛金残高の1.2%の貸倒れを見積る。差額補充法により処理すること。
- (3) 備品減価償却 定額法により減価償却費の計算を行い、直接法により記帳している。  
なお備品は前々期首に購入し、直ちに事業の用に供したものである。  
(取得原価1,250,000円であり、耐用年数は5年、残存価額はゼロとする。)
- (4) 現金過不足の残高は、原因不明につき、雑益として処理する。
- (5) 引出金の整理
2. 次の資料(1)～(3)によって、期首純資産・費用総額・当期純利益の各金額を求めなさい。なお、期中において純資産を直接的に増減させる取引はなかった。（全経3級対策：第164回）
- (1) 期首 現金：50,000円 当座預金：1,800,000円 売掛金：680,000円 受取手形：800,000円  
商品：220,000円 車両運搬具：1,500,000円 買掛金：550,000円 借入金：1,500,000円
- (2) 期末 現金：30,000円 当座預金：2,050,000円 売掛金：730,000円 受取手形：780,000円  
商品：260,000円 車両運搬具：1,000,000円 買掛金：520,000円 借入金：900,000円  
未払金：200,000円
- (3) この期の収益の総額：2,130,000円
3. 次の資料によって、期首資本（純資産）、売上原価、売上総利益、当期純利益の各金額を求めなさい。損益取引以外の取引により生じた純資産の変動はないものとする。（全経3級対策：第166回）
- (1) 期首 資産：35,350,000円（うち、商品：1,600,000円）、負債：18,000,000円
- (2) 期末 資産：42,700,000円（うち、商品：2,100,000円）、負債：24,300,000円
- (3) 純売上高 27,500,000円
- (4) 純仕入高 20,300,000円
4. 次の資料によって、期末純資産（資本）、純売上高を除く収益総額、売上総利益および当期純利益の金額を求めなさい。（全経2級対策：第162回）
- (1) 資産・負債
- |       | (期首)       | (期末)       |
|-------|------------|------------|
| 現金・預金 | 1,424,000円 | 1,526,000円 |
| 売掛金   | 1,536,000円 | 1,612,000円 |
| 商品    | 720,000円   | 750,000円   |
| 買掛金   | 1,350,000円 | 1,298,000円 |
- (2) 期間中の商品売買取引
- ① 当期総仕入高 3,785,000円
- ② 当期仕入返品高 413,000円
- ③ 当期総売上高 4,965,000円
- ④ 当期売上返品高 343,000円
- (3) 純売上高を除く期間中の収益総額 ?
- (4) 売上原価を除く期間中の費用総額 1,246,000円
- (5) 期間中の資本引出高 350,000円
- (6) 期間中の資本追加元入高 400,000円

テーマ	全経対策（Ⅷ）：精算表・F/Sの構造
-----	--------------------

1.

## 精 算 表

勘定科目	試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	169,000							
現金過不足		3,000						
当座預金	3,440,000							
売掛金	1,000,000							
貸倒引当金		9,000						
有価証券	900,000							
繰越商品	220,000							
貸付金	500,000							
備品	750,000							
買掛金		480,000						
前受金		64,000						
借入金		2,100,000						
資本金		4,000,000						
引出金	50,000							
売上		4,220,000						
受取手数料		8,000						
受取利息		116,000						
仕入	1,600,000							
給料	890,000							
広告費	200,000							
交通費	510,000							
通信費	190,000							
消耗品費	30,000							
支払家賃	360,000							
水道光熱費	90,000							
支払利息	101,000							
	11,000,000	11,000,000						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
雑益								
当期純利益								

## テーマ 全経対策（Ⅷ）：精算表・F/Sの構造

2.

期首純資産	円
費用総額	円
当期純利益	円

3.

期首資本（純資産）	円
売上原価	円
売上総利益	円
当期純利益	円

4.

期末純資産（資本）	円
純売上高を除く収益総額	円
売上総利益	円
当期純利益	円